



枕崎市では学校応援団などのボランティアの方々が、コロナに負けずに子供たちと様々な地域学校協働活動を行っています。今月も市内で行われた活動を紹介します。

～中学生が水産高校の実習船で洋上体験～ かつお釣り体験アドベンチャー

「かつお釣り体験アドベンチャー」は、枕崎の伝統的な漁法である「かつおの一本釣り」が

体験できる、中学生を対象とした夏休み中の行事です。今年で31回目になります。

鹿児島水産高校の協力で実習船「拓青（たくせい）」に乗り組み、枕崎港から外洋に出て屋久島の西隣の口永良部島近海で「かつお」を追って一本釣り漁を体験するという、まさに枕崎ならではの内容になっています。

今年も「船上での安全確保」などの事前研修を経て、市内の中学生10人が7月26日早朝に「拓青」に乗り組んで、枕崎港を出港しました。今年は天候にも恵まれて、予定通り口永良部島近海でのかつお釣り挑戦でした。

生徒たちは、船酔いと熱い日射しと戦いながら、魚釣りに取り組みました。釣った魚の数は少ないでしたが、カツオやホシガツオ、大物のサワラなど、11匹の釣果があり、夏休み中の貴重な体験になりました。



釣り上げた魚を持って笑顔で記念のポーズ

枕崎地区公民館の夏休み青少年講座第1弾「楽しい科学工作」が、7月23日に行われ、

「枕崎おもちゃ病院」院長の松岡隆次郎さんが、万華鏡の作成を指導してくれました。

子供たちは色とりどりのセロハンをハサミで切って円筒形の瓶の中に入れ、万華鏡の土台にぐるぐる回るように取り付けました。また、三つの鏡を三角柱にして内部に取り付けた筒に色紙を貼って、



指導した松岡さんと筒を覗く児童

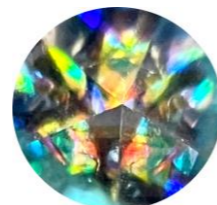


完成した万華鏡

円筒形の瓶の上に組み立てました。

子供たちが筒から覗いて円筒形の瓶を回すと、綺麗な模様が回るのが見えて大興奮の様子でした。

参加者は、楽しい科学工作でデラックスな万華鏡を堪能していました。



学校応援団ボランティア募集中！

詳しくは生涯学習課まで

TEL76-1286

～「夏休みの学習講座」が大好評～ 枕崎小学校

枕崎小学校では科学好きな子どもの育成をねらって、7月2日に「夏休みの学習講座」を開催しました。学習講座は4つのコースがあり、それぞれの分野の専門家である先生方が講師となって、夏休みの自由研究のヒントを教えてくださいました。

- 昆虫採集 県立博物館 中峯敦子先生
- 岩石採集 桜山小学校 内園校長先生
- 植物採集 環境省環境カレッジ 寺田仁志先生
- 理科研究 枕崎小学校 尾場瀬先生

当日は児童と保護者合わせて80人以上の参加があり、それぞれのコースに分かれて学習しました。教室での説明だけでなく、校庭に出て屋外での実践的な観察や指導をしてもらいました。

植物採集コースでは、植物分野で県内第一人者である寺田先生が、校内の「百周年記念の森」に生えている様々な植物の説明をしていただき、参加者が熱心に聞き入っていました。昆虫・岩石・植物・理科研究を深く楽しく学ぶことができ、参加した児童と保護者は大満足の様子でした。



「百年の森」で説明する寺田先生（写真中央）

～六月灯の灯籠を作って神社に奉納～ 金山地区公民館

金山地区の「大山祇神社（おおやまつみじんじゃ）」は、通称「金山神社」と呼ばれ、毎年7月最後の土曜日の六月灯には子供たちが灯籠を奉納し、地域総出のお祭りで賑わいます。

令和2年からのコロナ禍で、今年も六月灯のお祭りは実施できませんでしたが、灯籠の奉納は行われました。

金山地区公民館では、6月の青少年講座で小学生4人が大人と一緒に六月灯の灯籠づくりを行い、7月30日の大山祇神社の六月灯には子供たちが灯籠を奉納して無病息災を願いました。



雨のため社殿に奉納された灯籠

～夏休み青少年講座 第2弾 海の生き物の話 in 水高～ 枕崎地区公民館

枕崎地区公民館の青少年講座「まくらざき海の生き物の話」が、7月28日に鹿児島水産高校で行われ、小学生10人が参加しました。例年夏休み中に行われる人気の講座ですが、今年もマイクロバスに乗って水産高校に行き、実習室で「まくらざきの海の生き物」などの話を聞き、校内で養殖しているチョウザメやヒラメなどの魚の見学も行いました。

講師の水産高校栽培工学科の町頭先生からは、海で遊ぶ時の注意点や大人と一緒に楽しい磯遊びをしようとの話がありました。

その後の実技講習では、「溺れた人を助けるために飛び込むのは最後の手段である」との説明があり、溺れた人を助けるためのペットボトルとロープの投げ方などの体験活動も行い、充実した夏休みの講座になりました。



溺れた人にロープを投げる体験中